

2023年



12月

草の根

BULLETIN OF THE AICHI COUNCIL AGAINST A&H BOMBS

発行 原水爆禁止愛知県協議会
発行人 佐竹康行
〒461-0004
名古屋市東区葵1-22-26
Tel(052)932-3219
Fax(052)931-2651
gensuikyo@lime.ocn.ne.jp
毎月1回 6日発行
月40円/年間480円

「核兵器のない世界」は世界の共通目標 核兵器禁止条約第2回締約国会議 ニューヨークで開会



国連イザヤの壁前でスピーチする金本さん(右)とアピール行進(左)

TPNW(核兵器禁止条約)第2回締約国会議が27日、米ニューヨークの国連本部で開幕しました。12月1日までの日程です。初日は国連や政府高官、市民社会の代表などが発言。核兵器の非人道性に関するテーマ別討論も行われました。

日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

県内106,131筆

2023年11月10日 現在

動家も集まり、傍聴席は満席となり人があふれました。発言のたびに拍手が起きるなど熱気があふれる開幕となりました。日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)の木戸季市事務局長は長崎での被爆体験を語りました。「ウクライナとガザから伝えられる光景は被爆者にとってあの日の再来です」「原爆が人類を滅ぼすか、原爆をなくし人間が生き残るかの世界です」と危機感に満ちた発言に会場は静かに聞き入りました。

そして、日本被団協の歴史と活動を紹介し、「締約国会議が核被害者援護をはじめ希望をもたらし会議となることを心より祈念しています」と訴えると、参加者はひときわ大きな拍手で応えました。グレレス国連事務総長の代理で発言した中満泉・国連軍縮担当上級代表は、「核兵器による威嚇や使用は決して許されない。核兵器が使用されないようにする唯一の方法はその全面廃絶だ」と指摘しました。昨年6月の第1回締約国会議以降の条約の具体化に触れ、「この条約が持つ力を証明する動きだ」と強調しました。会議のフアン・デラフエンテ議長(メキシコ)は「核兵器のない世界という共通の目標に向けて



11月2日、愛知県平和委員会、安保破棄実行委員会、非核の政府を求め愛知の会、県原水協の4団体が共同で、非核・平和行政の充実を求めて愛知県と名古屋市に要請を行いました。

市民の権利を守る自治体に 愛知県・名古屋市に要請

て愛知県も名古屋市も、60年前に制定した平和宣言の趣旨にそって行政運営を行っているとの回答を行い、条約に対する態度をあいまいにしています。条約に参加する国が国連の過半数を超えているという世界の流れを踏まえ、愛知県も名古屋市も態度をはっきり示すべきだと迫りました。自衛官募集のために自衛隊に高齢者の個人情報提供している問題について、愛知県は、改正された個人情報保護法に基づき、提供が可能であるとの見解を示していることから、各市町村に法定受託事務として、事務を行うことを求める通知を



発しています。強制力はなく、義務ではないのではないかと質問に対し、そのことを認めながらも、自治体に通知を発していることは、自治体に事実上強制しているのではないかと指摘にこたえることができませんでした。名古屋市は、個人情報提供することについて、公益性があると判断をしています。なぜ公益性があるのかについては、防衛省などからの通知を繰り返すだけで自らの判断はまったくありません。戦争をする国づくりにつながらる自衛隊への情報提供は、やめさせなければなりません。戦争協力に突き進んだ戦前の赤紙の悲劇を再び繰り返させてはなりません。平和教育、被爆者支援、自衛隊の基地機能強化、PFAS、ミサイル避難訓練のことなど、追求すべき課題がたくさんあり時間が少なく、個別の課題での、要請行動が必要であるし、議会での論戦も大切だと感じました。地方自治体として、国の言いなりにならない、市民の権利を守るために何をしなければならぬのか、地方自治の本旨をしっかりとつかんでの行政運営を行わさるためには、市民の声を届け続けるしかないことを痛感します。(非核の政府を求める会・長尾)

被爆体験を語りながら 支援施策、平和行政の充実を訴える 愛友会・被爆者行脚



10月下旬から約1カ月をかけ、愛友会の被爆者を先頭に県内55自治体全てを訪問し、被爆者援護施策、非核・平和行政の充実を求めて、要請・懇談する「被爆者行脚」が今年も行われました。

要請・懇談では、必ず被爆者から被爆体験が語られ、担当する自治体職員の方は初めて被爆体験を聞く人も多く、真剣に被爆者の話を聞いています。

10月25日に行われた愛知県への要請行動に対する回答では、「黒い雨」にあたったとして、被爆者健康手帳を取得された県内の方は、13人いることが分かりました。ちなみに申請は15人ということでしたので、2人がなぜ取得できなかったのか確認していきたいと思えます。



また、被爆二世手帳(被爆二世健康記録簿)の取得者は、県内で485人いることも、県の回答により確認できました。春日井市の懇談では愛友会の水野秋恵さんが、被爆体験を語り継ぎ、継承していく課題で担当者に要請したところ、「体験を聞く機会」をつくりたいということで中学校の校長に連絡させるとの話になりました。

犬山市では市長、議長が参加しました。水野さんの被爆体験を聞き、市長は涙していました。市長から「同じあやまちはあってはならない」と署名に賛同しました。中学校での体験を聞く機会や2世への支援などについては、しっかり受け止めたいと話していました。

大府市では4名の被爆者が参加し、被爆者の一人は「両親は体験を話さ

なかったもので何も知らず姉の写真すらない。語り部になれるようになりたい」と語りました。また、地域福祉課とつながり企画を手伝っているとの話もありました。

大府市からは、中学校の広島と沖縄の派遣の様子を広報に8頁にわたり掲載していること。平和首長会議で呼びかけられた絵画コンテスト2022に大府市の小学生の描いた絵が最優秀賞に選ばれ、記念してクリアファイルを作成したことが回答されました。

豊明市では被爆者の大塚さんが参加し、被爆体験を語りました。母が1kmで被爆したこと、全身やけどの人を見たことなどを語りました。豊明市からは地元交流センターで原爆展を開催したこと。平和首長会議が呼びかける「核兵器禁止条約の早期締結を求める署名」を市役所ロビーで呼びかけたことなどが話されました。

この願いを込めて、私たちは、豊かなこのまちを後世に残していくために、あらゆる国の人々との相互理解と協調によって、戦争や核兵器のない世界の実現と、人類の共存を脅かす課題の解消に努める。「非核・平和都市」となることを宣言します。

18自治体、「平和都市宣言」が23自治体となり、残すは岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、小牧市、東海市、高浜市、豊明市、南知多町、東栄町、豊根村の12自治体となりました。被爆80年を迎える2025年までに全ての自治体で「宣言」が制定されるよう働きかけていきたいと思います。

《宣言文》
世界の恒久平和は、わたしたち阿久比町民、そして人類共通の願いです。この願いに反し、今もなお世界各地で、戦争やテロ行為、核兵器使用の威嚇、また貧困や飢餓、環境破壊など、人々の命と尊厳が脅かされる問題が起きています。

豊かな自然と共生し、安全・安心・安定の暮らしを次の世代の子どもたちにしっかりとつなぐことは、わたしたち阿久比町民の重大な責務です。町制70周年の節目の年に、平穏な日常がいつまでも

なかつたので何も知らず姉の写真すらない。語り部になれるようになりたい」と語りました。また、地域福祉課とつながり企画を手伝っているとの話もありました。

大府市からは、中学校の広島と沖縄の派遣の様子を広報に8頁にわたり掲載していること。平和首長会議で呼びかけられた絵画コンテスト2022に大府市の小学生の描いた絵が最優秀賞に選ばれ、記念してクリアファイルを作成したことが回答されました。

豊明市では被爆者の大塚さんが参加し、被爆体験を語りました。母が1kmで被爆したこと、全身やけどの人を見たことなどを語りました。豊明市からは地元交流センターで原爆展を開催したこと。平和首長会議が呼びかける「核兵器禁止条約の早期締結を求める署名」を市役所ロビーで呼びかけたことなどが話されました。

この願いを込めて、私たちは、豊かなこのまちを後世に残していくために、あらゆる国の人々との相互理解と協調によって、戦争や核兵器のない世界の実現と、人類の共存を脅かす課題の解消に努める。「非核・平和都市」となることを宣言します。

18自治体、「平和都市宣言」が23自治体となり、残すは岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、小牧市、東海市、高浜市、豊明市、南知多町、東栄町、豊根村の12自治体となりました。被爆80年を迎える2025年までに全ての自治体で「宣言」が制定されるよう働きかけていきたいと思います。

《宣言文》
世界の恒久平和は、わたしたち阿久比町民、そして人類共通の願いです。この願いに反し、今もなお世界各地で、戦争やテロ行為、核兵器使用の威嚇、また貧困や飢餓、環境破壊など、人々の命と尊厳が脅かされる問題が起きています。

豊かな自然と共生し、安全・安心・安定の暮らしを次の世代の子どもたちにしっかりとつなぐことは、わたしたち阿久比町民の重大な責務です。町制70周年の節目の年に、平穏な日常がいつまでも

念願の「非核平和都市宣言」 田原市制20周年記念式典で披露



10月28日、被爆者、市民、共産党河辺正男、故角谷敏夫元市議などの長い長い運動によって、ついに「田原市非核平和都市宣言」が「市制20周年記念式典」で披露されました。宣言は10月25日に議会でも全会一致で決議されています。

市役所入口に宣言の塔が設置され、文化会館入口に平和首長会議提供の被爆アオギリの植樹などが行われました。

東三河ではあと東栄町と豊根村が未宣言です。宣言自治体は宣言に恥



この願いを込めて、私たちは、豊かなこのまちを後世に残していくために、あらゆる国の人々との相互理解と協調によって、戦争や核兵器のない世界の実現と、人類の共存を脅かす課題の解消に努める。「非核・平和都市」となることを宣言します。

18自治体、「平和都市宣言」が23自治体となり、残すは岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、小牧市、東海市、高浜市、豊明市、南知多町、東栄町、豊根村の12自治体となりました。被爆80年を迎える2025年までに全ての自治体で「宣言」が制定されるよう働きかけていきたいと思います。

《宣言文》
世界の恒久平和は、わたしたち阿久比町民、そして人類共通の願いです。この願いに反し、今もなお世界各地で、戦争やテロ行為、核兵器使用の威嚇、また貧困や飢餓、環境破壊など、人々の命と尊厳が脅かされる問題が起きています。

豊かな自然と共生し、安全・安心・安定の暮らしを次の世代の子どもたちにしっかりとつなぐことは、わたしたち阿久比町民の重大な責務です。町制70周年の節目の年に、平穏な日常がいつまでも

この願いを込めて、私たちは、豊かなこのまちを後世に残していくために、あらゆる国の人々との相互理解と協調によって、戦争や核兵器のない世界の実現と、人類の共存を脅かす課題の解消に努める。「非核・平和都市」となることを宣言します。

18自治体、「平和都市宣言」が23自治体となり、残すは岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、小牧市、東海市、高浜市、豊明市、南知多町、東栄町、豊根村の12自治体となりました。被爆80年を迎える2025年までに全ての自治体で「宣言」が制定されるよう働きかけていきたいと思います。

この願いを込めて、私たちは、豊かなこのまちを後世に残していくために、あらゆる国の人々との相互理解と協調によって、戦争や核兵器のない世界の実現と、人類の共存を脅かす課題の解消に努める。「非核・平和都市」となることを宣言します。

18自治体、「平和都市宣言」が23自治体となり、残すは岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、小牧市、東海市、高浜市、豊明市、南知多町、東栄町、豊根村の12自治体となりました。被爆80年を迎える2025年までに全ての自治体で「宣言」が制定されるよう働きかけていきたいと思います。

この願いを込めて、私たちは、豊かなこのまちを後世に残していくために、あらゆる国の人々との相互理解と協調によって、戦争や核兵器のない世界の実現と、人類の共存を脅かす課題の解消に努める。「非核・平和都市」となることを宣言します。

18自治体、「平和都市宣言」が23自治体となり、残すは岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、小牧市、東海市、高浜市、豊明市、南知多町、東栄町、豊根村の12自治体となりました。被爆80年を迎える2025年までに全ての自治体で「宣言」が制定されるよう働きかけていきたいと思います。

この願いを込めて、私たちは、豊かなこのまちを後世に残していくために、あらゆる国の人々との相互理解と協調によって、戦争や核兵器のない世界の実現と、人類の共存を脅かす課題の解消に努める。「非核・平和都市」となることを宣言します。

18自治体、「平和都市宣言」が23自治体となり、残すは岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、小牧市、東海市、高浜市、豊明市、南知多町、東栄町、豊根村の12自治体となりました。被爆80年を迎える2025年までに全ての自治体で「宣言」が制定されるよう働きかけていきたいと思います。

この願いを込めて、私たちは、豊かなこのまちを後世に残していくために、あらゆる国の人々との相互理解と協調によって、戦争や核兵器のない世界の実現と、人類の共存を脅かす課題の解消に努める。「非核・平和都市」となることを宣言します。

18自治体、「平和都市宣言」が23自治体となり、残すは岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、小牧市、東海市、高浜市、豊明市、南知多町、東栄町、豊根村の12自治体となりました。被爆80年を迎える2025年までに全ての自治体で「宣言」が制定されるよう働きかけていきたいと思います。

この願いを込めて、私たちは、豊かなこのまちを後世に残していくために、あらゆる国の人々との相互理解と協調によって、戦争や核兵器のない世界の実現と、人類の共存を脅かす課題の解消に努める。「非核・平和都市」となることを宣言します。

18自治体、「平和都市宣言」が23自治体となり、残すは岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、小牧市、東海市、高浜市、豊明市、南知多町、東栄町、豊根村の12自治体となりました。被爆80年を迎える2025年までに全ての自治体で「宣言」が制定されるよう働きかけていきたいと思います。

この願いを込めて、私たちは、豊かなこのまちを後世に残していくために、あらゆる国の人々との相互理解と協調によって、戦争や核兵器のない世界の実現と、人類の共存を脅かす課題の解消に努める。「非核・平和都市」となることを宣言します。

18自治体、「平和都市宣言」が23自治体となり、残すは岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、小牧市、東海市、高浜市、豊明市、南知多町、東栄町、豊根村の12自治体となりました。被爆80年を迎える2025年までに全ての自治体で「宣言」が制定されるよう働きかけていきたいと思います。

この願いを込めて、私たちは、豊かなこのまちを後世に残していくために、あらゆる国の人々との相互理解と協調によって、戦争や核兵器のない世界の実現と、人類の共存を脅かす課題の解消に努める。「非核・平和都市」となることを宣言します。

18自治体、「平和都市宣言」が23自治体となり、残すは岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、小牧市、東海市、高浜市、豊明市、南知多町、東栄町、豊根村の12自治体となりました。被爆80年を迎える2025年までに全ての自治体で「宣言」が制定されるよう働きかけていきたいと思います。

この願いを込めて、私たちは、豊かなこのまちを後世に残していくために、あらゆる国の人々との相互理解と協調によって、戦争や核兵器のない世界の実現と、人類の共存を脅かす課題の解消に努める。「非核・平和都市」となることを宣言します。

18自治体、「平和都市宣言」が23自治体となり、残すは岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、小牧市、東海市、高浜市、豊明市、南知多町、東栄町、豊根村の12自治体となりました。被爆80年を迎える2025年までに全ての自治体で「宣言」が制定されるよう働きかけていきたいと思います。

この願いを込めて、私たちは、豊かなこのまちを後世に残していくために、あらゆる国の人々との相互理解と協調によって、戦争や核兵器のない世界の実現と、人類の共存を脅かす課題の解消に努める。「非核・平和都市」となることを宣言します。

18自治体、「平和都市宣言」が23自治体となり、残すは岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、小牧市、東海市、高浜市、豊明市、南知多町、東栄町、豊根村の12自治体となりました。被爆80年を迎える2025年までに全ての自治体で「宣言」が制定されるよう働きかけていきたいと思います。

この願いを込めて、私たちは、豊かなこのまちを後世に残していくために、あらゆる国の人々との相互理解と協調によって、戦争や核兵器のない世界の実現と、人類の共存を脅かす課題の解消に努める。「非核・平和都市」となることを宣言します。

18自治体、「平和都市宣言」が23自治体となり、残すは岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、小牧市、東海市、高浜市、豊明市、南知多町、東栄町、豊根村の12自治体となりました。被爆80年を迎える2025年までに全ての自治体で「宣言」が制定されるよう働きかけていきたいと思います。

この願いを込めて、私たちは、豊かなこのまちを後世に残していくために、あらゆる国の人々との相互理解と協調によって、戦争や核兵器のない世界の実現と、人類の共存を脅かす課題の解消に努める。「非核・平和都市」となることを宣言します。

18自治体、「平和都市宣言」が23自治体となり、残すは岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、小牧市、東海市、高浜市、豊明市、南知多町、東栄町、豊根村の12自治体となりました。被爆80年を迎える2025年までに全ての自治体で「宣言」が制定されるよう働きかけていきたいと思います。

この願いを込めて、私たちは、豊かなこのまちを後世に残していくために、あらゆる国の人々との相互理解と協調によって、戦争や核兵器のない世界の実現と、人類の共存を脅かす課題の解消に努める。「非核・平和都市」となることを宣言します。

18自治体、「平和都市宣言」が23自治体となり、残すは岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、小牧市、東海市、高浜市、豊明市、南知多町、東栄町、豊根村の12自治体となりました。被爆80年を迎える2025年までに全ての自治体で「宣言」が制定されるよう働きかけていきたいと思います。

この願いを込めて、私たちは、豊かなこのまちを後世に残していくために、あらゆる国の人々との相互理解と協調によって、戦争や核兵器のない世界の実現と、人類の共存を脅かす課題の解消に努める。「非核・平和都市」となることを宣言します。

18自治体、「平和都市宣言」が23自治体となり、残すは岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、小牧市、東海市、高浜市、豊明市、南知多町、東栄町、豊根村の12自治体となりました。被爆80年を迎える2025年までに全ての自治体で「宣言」が制定されるよう働きかけていきたいと思います。

この願いを込めて、私たちは、豊かなこのまちを後世に残していくために、あらゆる国の人々との相互理解と協調によって、戦争や核兵器のない世界の実現と、人類の共存を脅かす課題の解消に努める。「非核・平和都市」となることを宣言します。

18自治体、「平和都市宣言」が23自治体となり、残すは岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、小牧市、東海市、高浜市、豊明市、南知多町、東栄町、豊根村の12自治体となりました。被爆80年を迎える2025年までに全ての自治体で「宣言」が制定されるよう働きかけていきたいと思います。

この願いを込めて、私たちは、豊かなこのまちを後世に残していくために、あらゆる国の人々との相互理解と協調によって、戦争や核兵器のない世界の実現と、人類の共存を脅かす課題の解消に努める。「非核・平和都市」となることを宣言します。

18自治体、「平和都市宣言」が23自治体となり、残すは岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、小牧市、東海市、高浜市、豊明市、南知多町、東栄町、豊根村の12自治体となりました。被爆80年を迎える2025年までに全ての自治体で「宣言」が制定されるよう働きかけていきたいと思います。

この願いを込めて、私たちは、豊かなこのまちを後世に残していくために、あらゆる国の人々との相互理解と協調によって、戦争や核兵器のない世界の実現と、人類の共存を脅かす課題の解消に努める。「非核・平和都市」となることを宣言します。

18自治体、「平和都市宣言」が23自治体となり、残すは岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、小牧市、東海市、高浜市、豊明市、南知多町、東栄町、豊根村の12自治体となりました。被爆80年を迎える2025年までに全ての自治体で「宣言」が制定されるよう働きかけていきたいと思います。

この願いを込めて、私たちは、豊かなこのまちを後世に残していくために、あらゆる国の人々との相互理解と協調によって、戦争や核兵器のない世界の実現と、人類の共存を脅かす課題の解消に努める。「非核・平和都市」となることを宣言します。

18自治体、「平和都市宣言」が23自治体となり、残すは岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、小牧市、東海市、高浜市、豊明市、南知多町、東栄町、豊根村の12自治体となりました。被爆80年を迎える2025年までに全ての自治体で「宣言」が制定されるよう働きかけていきたいと思います。

反核・平和
新春のついで

元日宣伝
毎年恒例の元日署名宣伝行動を来年も行います。年の初めに、日本の核兵器禁止条約参加・批准を訴えましょう。

熱田神宮東側
歩行者天国

2024年1月1日
12:00~13:00

阿久比町平和のまち宣言

令和5年11月3日制定
阿久比町